

# 第2期旭市総合戦略について



旭市



令和5年7月21日

## 旭市総合戦略とは、

急激な少子高齢化に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、住みよい環境を確保して、将来にわたって持続可能なまちづくりを目指すために策定するものです。

## そのためには、

人口の現状分析及び将来人口の推計（人口ビジョン）を行い、旭市の実情に沿った地域性のある効果的な取り組みを企画立案（総合戦略）します。

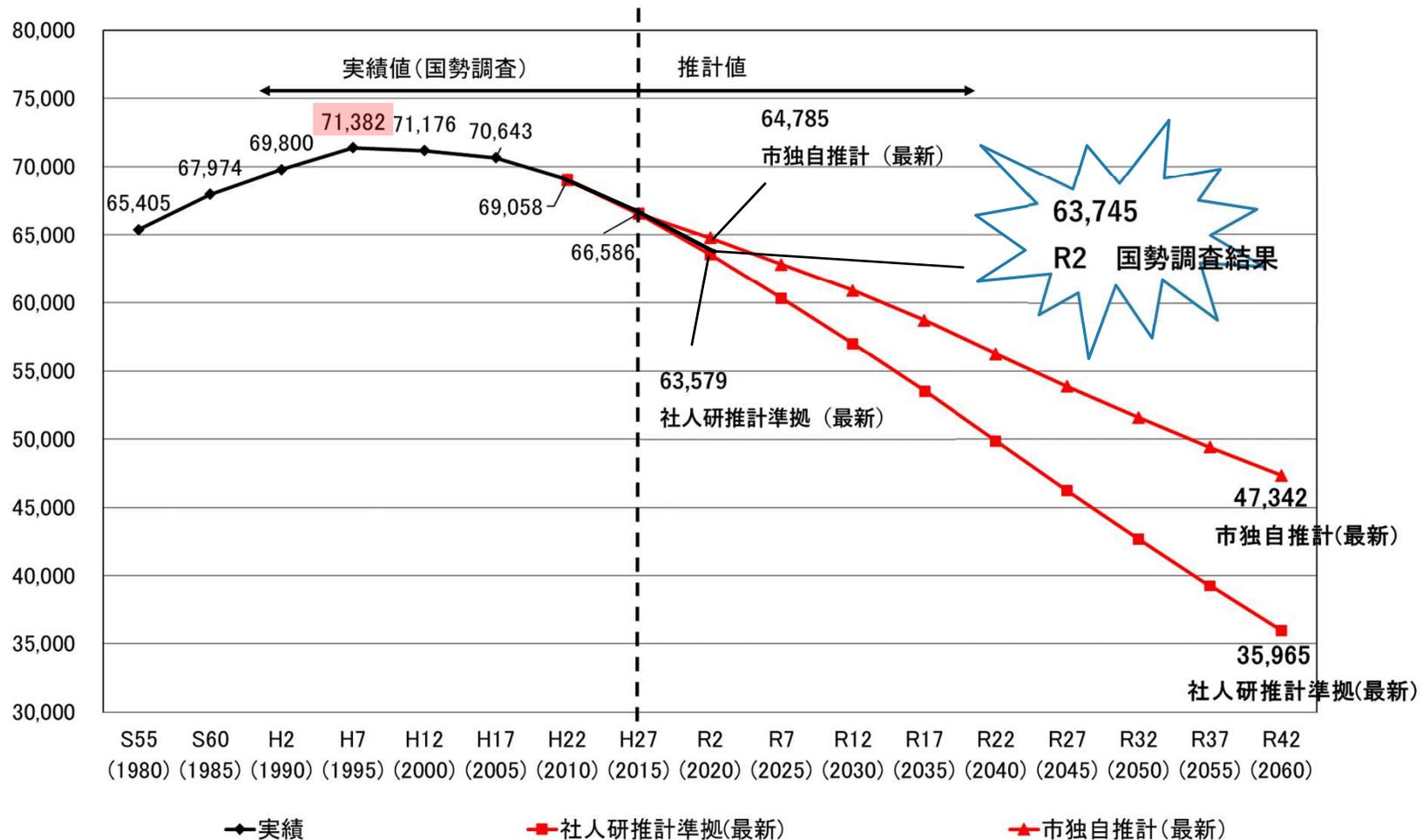
# 1. 人口ビジョン

---

# 1) 旭市の人口の現状

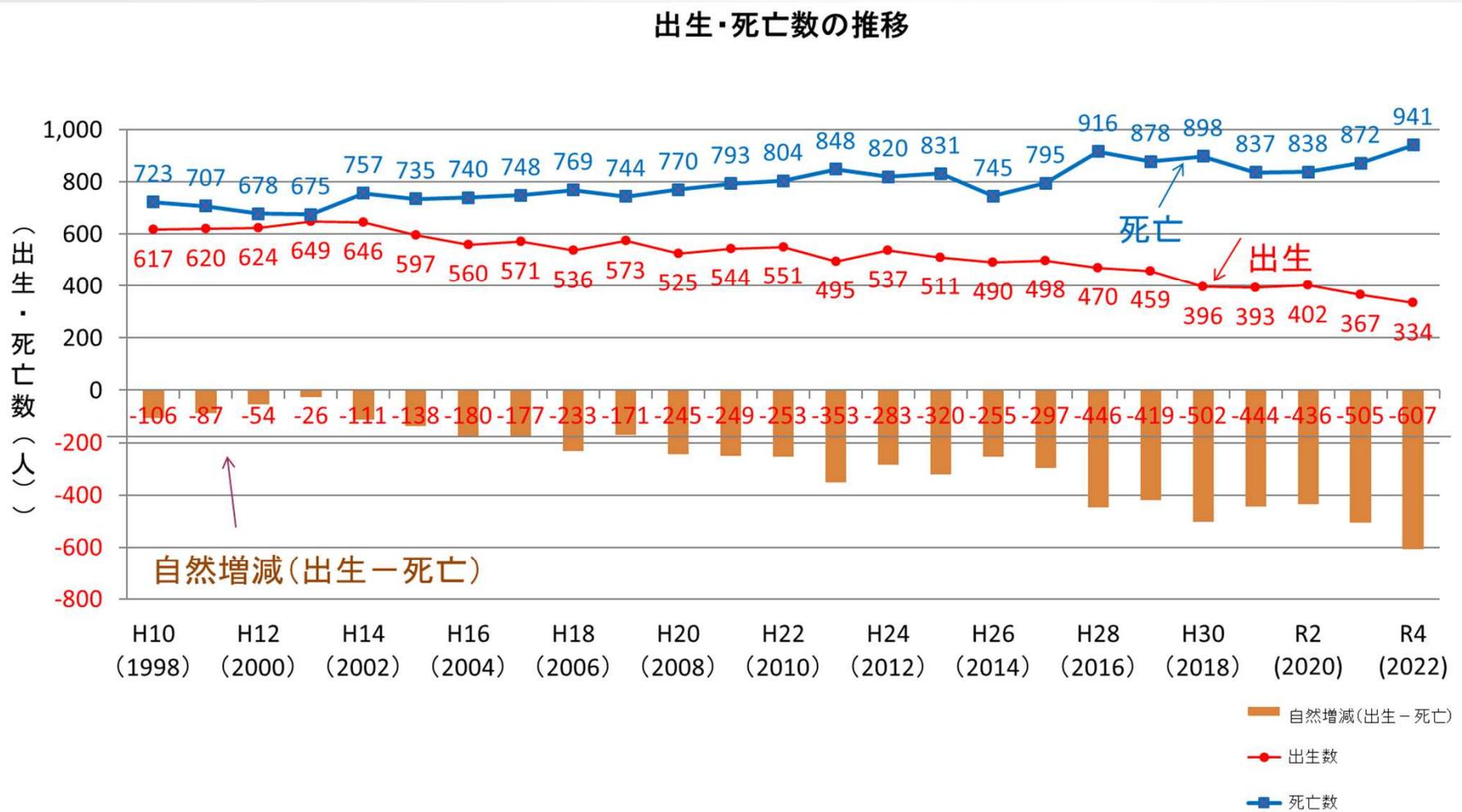
## ◆ 人口の推移と将来推計

- ・人口は、平成7年（1995年）の**71,382人**をピークに減少。



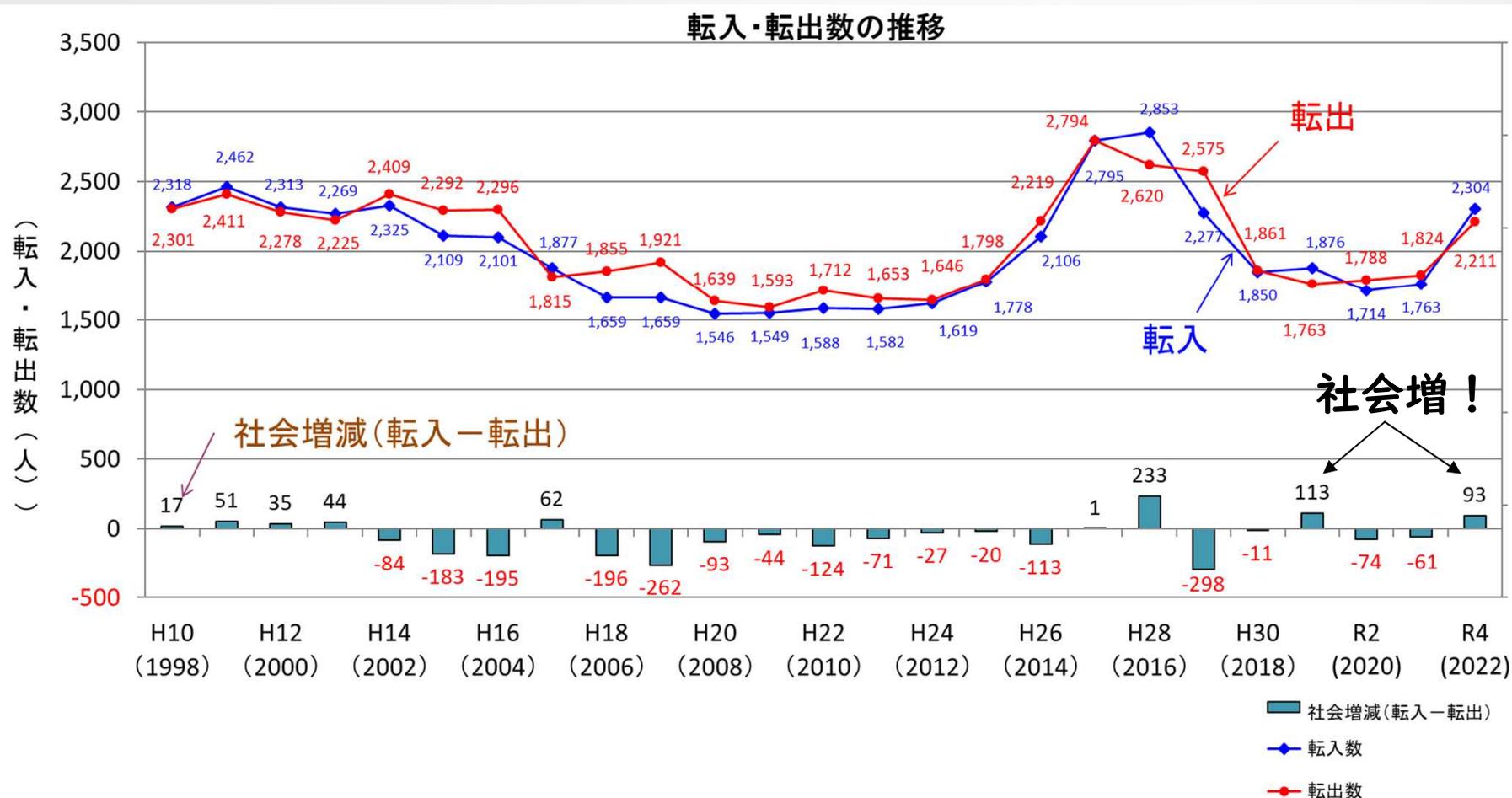
## ◆ 出生・死亡数（自然増減）の推移

・近年、死亡数が出生数を上回る「自然減」の拡大。



## ◆ 転入・転出数（社会増減）の推移

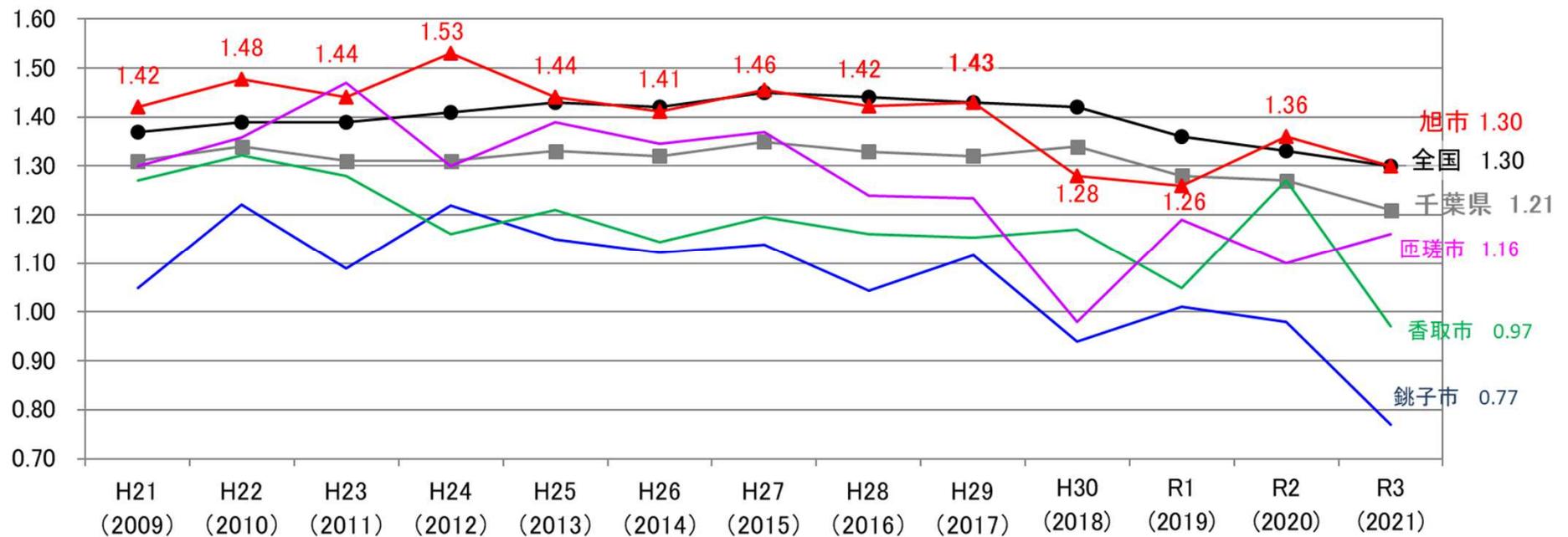
- ・ 転入・転出の、差はそれほど大きくない。



## ◆ 合計特殊出生率の推移

- ・ 全国平均と同じ1.3であり、千葉県、周辺市と比較して、**旭市の出生率が高い。**

合計特殊出生率の推移の比較



### 県内上位

|    |     |      |
|----|-----|------|
| 1位 | 一宮町 | 1.64 |
| 2位 | 流山市 | 1.56 |
| 3位 | 印西市 | 1.48 |

## 第2期旭市総合戦略の

将来人口の目標（48,000人）

設定するための仮定

合計特殊出生率が、令和12年に1.8人、その後、令和42年まで維持

R3年度時点 1.3人

転入・転出数（社会増減）の差が0人で進んでいく

R4年度時点 +93人

## 2. 総合戦略

---

# 全体概要

将来人口  
48,000人 令和42年（2060年）

## 将来都市像

「郷土愛からつなぐ未来 ず〜っと大好きなまち旭」

～ 三郷の実現から発展へ ～

三郷：「医療・福祉の郷」「食の郷」「交流の郷」

## 基本目標

- ① 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり
- ② 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり
- ③ ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり
- ④ 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり

# 基本目標

## 重点戦略

- ① 地産振興プロジェクト
- ② 子宝育成プロジェクト
- ③ 故郷創出プロジェクト
- ④ 安心形成プロジェクト

生涯活躍の  
まち・あさひ  
形成事業

+

## 基本施策

# 重点戦略

## ① 地産振興プロジェクト

本市の農業のさらなる発展、地場産業の連携、安定した雇用の創出に取り組み、働く世代が地域にとどまりたいと思うような就労を支援する取り組みを進めます。

- ◆ 農業経営基盤と生産力の強化
- ◆ 雇用の推進や起業・創業への支援
- ◆ 道の駅「季楽里あさひ」との連携

## ② 子宝育成プロジェクト

市民が安心して働き、結婚・出産・子育てができる社会環境を目指します。

また、学校・家庭・地域とともに子どもの個性や創造性を伸ばす教育に取り組みます。

- ◆ 結婚出合いの場づくり
- ◆ 子どもの育ちを支える教育環境づくり
- ◆ 安心して子育てができる環境の整備

### ③ 故郷創出プロジェクト

地域に対する市民の愛着を深めるとともに、交流人口、関係人口の拡大を図り、市内外の人が魅力を感じて移住・定住するような環境づくりを進めます。

- ◆ シティセールスの推進
- ◆ 旭への愛着と景観づくり
- ◆ 移住定住促進策の拡充

### ④ 安心形成プロジェクト

誰もが安全で安心して暮らせる地域にするため、地域医療機関及び介護施設との連携による総合相談窓口の推進と、普段から備えのできた災害に強いまちづくりを目指します。

- ◆ 地域包括ケアシステムの充実
- ◆ 安心して暮らせる地域づくり
- ◆ 高齢者の活躍の場づくり